学校番号	122

平成31年度　　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	2	年次	２年次
使用教科書	「精選　現代文B　改訂版」（大修館書店）						
副教材等	①「新訂国語図説（四訂版）」（京都書房）②「改訂版　プログレス　現代文　総演習　標準編」（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、随想・小説・評論文・詩・短歌・俳句など、様々な種類の文章や韻文が登場します。１年次に「現代文（国語総合）」で学んだことを活かしながら、それらを読み込み、味わい、自分自身の頭で整理し考えることで、さらに自らの感性を豊かのものにしていきましょう。また、そのように作品を通して学んだことや自分の考えを書いたり発表したり、人の意見を聞いたり読んだりすることで、さらに表現力を磨き高めていきましょう。

2　学習の到達目標

・文学作品を深く味わうことのできる基礎としての読解力や語彙力を身につけて、自ら作品を読み味わえる力をつける。
・伝え合う力へとつながる表現力や音声言語力を身につけて、社会の中で主張したり、相手の主張を理解する力をつける。
・総じて、様々な言語活動を通して豊かな言語感覚を身につけて、変わりゆく社会の中で自ら生きる力をつける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。	目的や場に応じて、効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えを深め、発展させている。	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。	近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	言語文化及び言葉の特徴や決まりなどについての理解を深め、知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察（授業や課題への取り組み） ・記述の点検（ノート、ワークシート等）	・行動の観察（発表や朗読等の音声言語活動） ・記述の確認（発表時等における相互評価への取り組み）	・記述の確認及び分析（ワークシート、短作文、作文、韻文創作等）	・定期考査 ・小テスト	・定期考査 ・小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	e	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	評論(一) 広がる想像力	『対話の精神』	○	◎		○		a:文章を的確に読み取り、自分の考えを発展させようとしたり、考えをまとめて話したり 的確に聞き取ろうとしている。 b:考えをまとめて話したり、的確に聞き取っている。 d:文章を的確に読み取り、自分の考えを発展させている。	a:行動の観察 b:行動の確認 記述の点検 d:記述の点検 定期考査
		『ミロのヴィーナス』	○		○	◎		a:文章を読んで、その論理性を評価しようとしたり、それを適切な文章にしようとしている。 c:文章を読んで、その論理性をまとめて適切に文章にしている。 d:文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価できる。	a:行動の観察 c:記述の点検 d:記述の点検 定期考査
	詩 言葉の力	『永訣の朝』	○			◎	○	a:語句の意味や表現上の特色を理解したり、書き手の意図や心情の描写等を的確にとらえようとしている。 d:書き手の意図や心情の描写等を的確にとらえ表現を味わう。 e:語句の意味や表現上の特色を理解している。	a:行動の観察 d:記述の点検 e:記述の点検 定期考査
	評論(二) 社会をとらえる	『家族化するペット』	○		○	◎		a:文章を読んで自分の考えを深めたり、それを効果的に表現しようとしている。 c:文章を読んで自分の考えを深め、その内容を効果的に表現している。。 d:文章を読んで批評することを通して、人間、社会などについて自分の考えを深めている。	a:行動の観察 c:記述の点検 定期考査 d:定期考査
	小説(一) 名作を読む(一)	『山月紀』	○	○		◎		a:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わおうとしている。 b:様々な角度から検討し自分の考えをもち、根拠を明確にして意見を述べる。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。	a:行動の観察 b:行動の確認 記述の点検 d:記述の点検 定期考査

2	評論（三） 人間と科学	『食べ物を「はかる」』	○	○		◎		a:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりしようとしている。また、表現の仕方を工夫して話し合おうとしている。 b:考えを深めるために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方を工夫して話し合っている。 d:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしたりしようとしている。	a：行動の観察 b：行動の確認 記述の点検 d：定期考査
	小説（二） こころの交流	『山椒魚』	○	○		◎		a:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わおうとしている。 b:考えを深めるために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方を工夫して話し合っている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。	a：行動の観察 b：行動の確認 記述の点検 d：定期考査
	評論(四) メディアと情報	『「考える葦」であり続ける』	○			◎	○	a:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけようとしている。 d:文章に内容や形態に応じた表現の特色に注意して読もうとしている。 e:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけている。	a：行動の観察 記述の点検 d：定期考査 e：定期考査
		『生命情報・社会情報・機械情報』	○		◎	○		a:対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書こうとしている。 c:対象を的確に説明したり描写したりするなど、適切な表現の仕方を考えて書いている。 d:作品を読み、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしている。	a：行動の観察 記述の点検 c：記述の点検 d：定期考査
	小説（三） 名作を読む（二）	『こころ』	○			◎	○	a:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わおうとしている。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけている。	a：行動の観察 d：定期考査 記述の点検 e：定期考査
3	評論（五） 他者への視点	『敬語への自覚、他者への自覚』	○	○		◎		a:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしようとしている。 b:課題を解決したり考えを深めたりするために、相手の立場や考えを尊重し、表現の仕方を工夫して話し合っている。 d:文章の内容を叙述に即して的確に読み取ったり、必要に応じて要約や詳述をしている。	a:行動の観察 記述の点検 b:行動の観察 記述の点検 d:定期考査
		『分かち合う社会』	○		◎	○		a:文章を読んで自分の考えを深めたり、それを効果的に表現しようとしている。 c:文章を読んで自分の考えを深め、その内容を効果的に表現している。。 d:文章を読んで批評することを通して、人間、社会などについて自分の考えを深めている	a:行動の観察 記述の点検 c:行動の観察 記述の点検 d:定期考査
	評論（六） グローバルとローカル	『コミュニティから見た日本』	○			◎	○	a:文章を読んで自分の考えを深めたり、それを効果的に表現しようとしている。 d:文章を読んで批評することを通して、人間、社会などについて自分の考えを深めている。 e::理解に役立てるための語句、漢字等の知識を身につけている。	a:行動の観察 記述の点検 d:定期考査 e:定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力 e:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

学校番号	122

平成31年度　　国語科

教科	国語	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校　改訂版　現代文Ｂ」（第一学習社）						
副教材等	①「大学入試 国語頻出問題1200四訂版」（いいずな書店）　②「クリアカラー　国語便覧」（数研出版） ③「漢字ボックス」（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本教科では、主に「評論」「小説」を読み、考え、味わうことを通して、「読解力」「国語表現力」の向上を目指します。1・2年次に取り組んできた「書き言葉」の読み取り、表現活動の水準を、本科目では更に高めます。具体的には、言外の心情や行間の語感、情感までも（役者が脚本の行間の情感を身体で演じるレベルの深さで）適切に読み取る作業に習熟することを目指します。なお、ノートには授業のみならず自学自習の内容も表現し、提出期限を厳守すること。

2　学習の到達目標

国語力を高めるとともに、作品の趣向や表現の味わいを感じ取り、自らの考えを深めることを習慣づける。話し言葉と書き言葉の2系統の日本語を使いこなし、社会で役立てる力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	授業時間以外に、自律学習でどれほどの情報収集と整理を行ったか。	著者、登場人物の心情を行間を含め文脈で読み取る	自由記述、論理的記述を含め適切に日本語を扱えるか	声を出して読む、斉読など三読法で味わい或る朗読ができるか	漢字書取や慣用表現など
評価方法	ノート・プリント点検	プリント・考査	ノート・プリント点検	朗読、行動観察	小テスト・考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	e	単元(題材)の評価規準	評価方法
1	評論『未来世代への責任』・小説『檸檬』・評論『いのちのかたち』・詩『足と心』	評論の論理と読解		◎		○		a:文章の構成や展開を確かめ、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 b:様々な角度から検討し自分の考えをもち、根拠を明確にして意見を述べる。 c:感想を書く、要約するなどができる。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	行動観察・ノート点検・考査
		小説の虚構のリアリティ		◎	○				行動観察・ノート点検
		漢字･語彙･表現	◎				○		書取など小テスト
		文化論的主題の背景	◎		○				朗読テストなど
		文学史･作者周辺		◎					ノート点検・発言内容
2	詩『自然の背後に隠れて居る』・評論『目に見える制度と見えない制度』・小説『舞姫』	論理的文章の読解	◎			○		a:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わおうとしている。 b:様々な角度から検討し自分の考えをもち、根拠を明確にして意見を述べる。 c:感想を書く、要約するなどができる。 d:文章に描かれた人物、情景、心情等を表現に即して読み味わっている。 e:語句を調べ、意味を理解している。	行動観察・ノート点検
		伝統的言語文化への理解		◎			○		行動観察・ノート点検
		時代背景と個人の「生」	◎			○			書取など小テスト
		個を描きつつ普遍、名作の要件		◎	○				プリント・考査
		漢字･語彙		○	◎				ノート点検・発言内容
3	短歌・俳句	表現を味わう		◎	○			a:表現の特徴を確かめ、内容を的確にとらえようとしている。 b:歌の情景を理解し、意見を述べる。 c:感想を書く、要約するなどができる。 d:歌の表現や内容を確かめ、大意を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	行動観察・ノート点検
		素材･題材と季節感覚	◎			○			行動観察・ノート点検
		表現と個性	◎				○		小テスト・考査
		伝統的言語文化への理解	◎			○			プリント・ノート
		漢字･語彙		○	◎				ノート・発言内容

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力 e:知識・理解
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。